

衛星開発デジタルイノベーション

佐藤 博* 川口浩知**
塚本英彦*
戸塚正弘*

要 旨

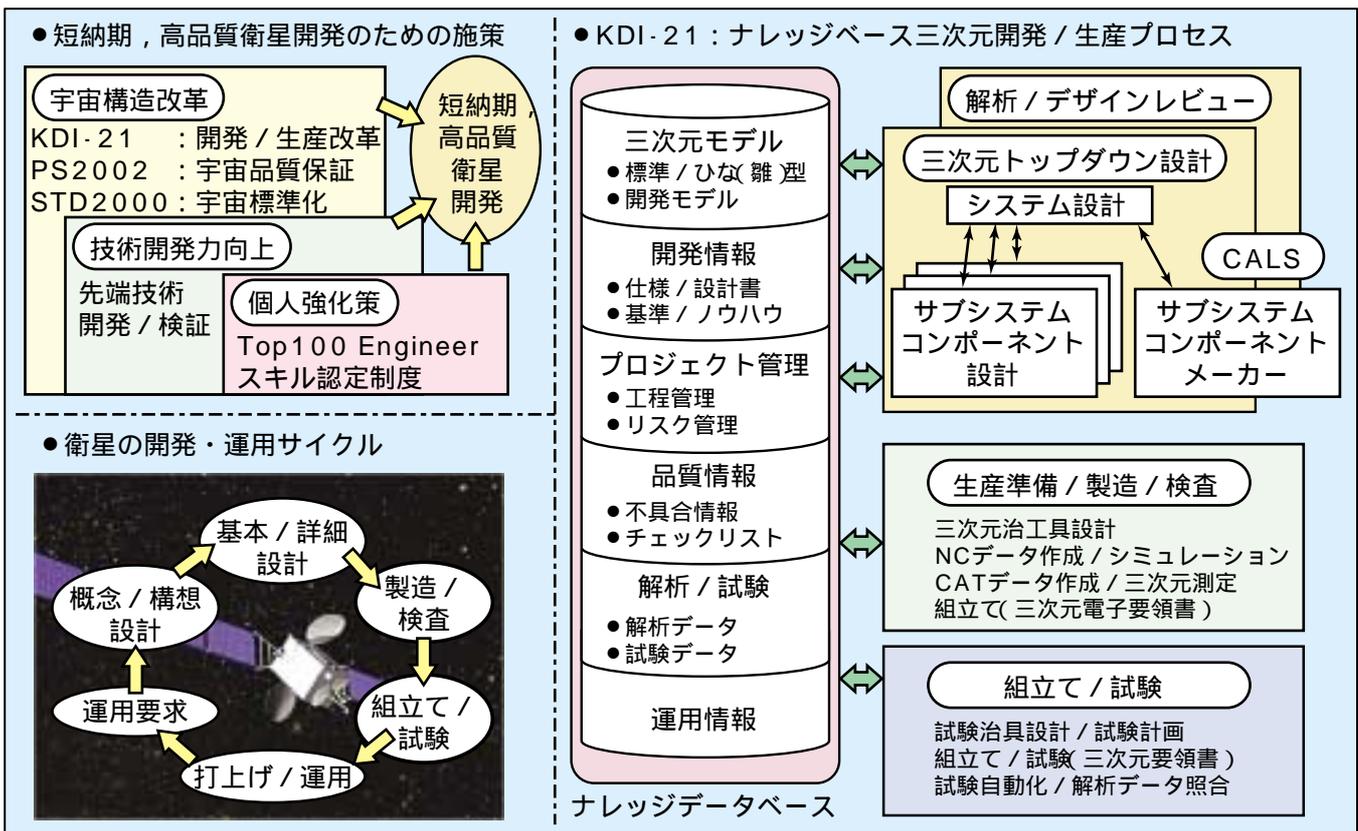
衛星システムの開発において、欧米では、大々的なIT技術の活用により、短期間に低コストの衛星を開発・製造する仕組みを構築し、急増する商用衛星の分野で優位に立っている。

三菱電機としても衛星システムメーカーとしてIT技術を活用した開発環境整備を積極的に進めているが、欧米メーカーも更なる低コスト化・短納期化を進めており、ますます競争が激化している。一方、将来的には欧米又は国内メーカーとの衛星開発・製造の協業も可能とし、ビジネスチャンスの拡大や国際プロジェクトの一員としての責任を果たすことも重要であり、国内外メーカーとのIT連携も必ず(須)となっている。

このように商用衛星事業の拡大やグローバル化への対応

及び社内の事業構造改革や開発設計/生産活動の革新を推進し“21世紀を勝ち抜くための情報システム革新ビジョン”として、KDI-21(Kamakura Digital Innovation)プロジェクトを推進中である。

KDI-21プロジェクトでは、情報インフラや各種コンピュータシステムを最大限に活用し、情報の徹底的なデジタル化を進めるとともに、個人や限られたメンバーに蓄積されたノウハウや経験、事例等を形ある体系的な知識として共有・活用するナレッジマネジメント化を推進している。また、これらのデジタル情報を中心とした商談・受注から設計・製造・試験までの一貫した流れの確立と業務革新に取り組み、“短納期、高品質衛星開発”の確立をねらっている。



衛星開発デジタルイノベーション

“短納期、高品質衛星開発”の事業構造確立のため、宇宙構造改革、技術開発力向上、個人強化策の三つの基軸で取り組み、特に宇宙構造改革の中では、IT技術を駆使した開発/生産改革KDI-21プロジェクトが中心的役割となって、三次元設計システムを核としたナレッジベースシステムを構築中である。